

学研高山地区及び周辺地域 魅力あっぷ通信

R7.3
Vol. 1

この通信は、学研高山地区及び周辺地域の価値向上に向けた取り組みについての内容をお知らせするものです。

発行：生駒市学研推進課

学研高山地区と周辺地域の皆さまとワークショップで意見交換を行いました。

学研高山地区は国家的プロジェクトとして、文化・学術・研究の都市を建設することを目的とする学研都市(関西文化学術研究都市)の一つです。

学研都市の中の多くのエリアで事業が完了しているなか、学研高山地区第2工区は未完了の状態なので、現在は地権者と生駒市を中心にまちづくりの実現に向け取り組んでいるところです。

学研高山地区第2工区だけでなく、**周辺の地域を含めた高山地区全体を「暮らしやすく」「魅力に溢れ」「誇れる」エリア**としていくため、高山地区周辺地域の関係者の方々にお集まりいただき、「**地域の価値向上**」に向けた意見交換を行いました。

【日程】

令和7年2月18日(火)

【場所】

奈良先端科学技術大学院大学

【アドバイザー】

奈良県立大学 教授 佐藤 由美 氏

【ファシリテータ】

新産業文化創出研究所 廣常 啓一 氏

主催：生駒市、奈良先端科学技術大学院大学

当日の様子

当日は、4つのテーブルに分かれて意見交換を行いました。生駒市によるあいさつの後、佐藤由美教授より今回のワークショップの視点についてコメントをいただき、意見交換を開始しました。

まずはテーブルごとに自己紹介を行い高山町と周辺地域のどこで何をしているかについて情報共有し、その後、各テーマについて意見交換を行い、テーブルごとに発表しました。最後に、次回のワークショップに繋がられるよう今回出た意見をまとめ、佐藤由美教授から総括コメントをいただきました。



学研高山地区第2工区地権者、奈良先端大(学生、留学生、職員)、高山地区事業者、農業関係者、地域活動団体のみなさま(合計27名)



当日は4つのグループに分かれて意見交換を行いました。

🗣️アドバイザー 佐藤 由美 教授よりコメント

学研高山地区とその周辺地域は、これから変化していく場所であり、規模も大きく生駒市にとって非常に重要で貴重な拠点だと考えています。

今回はワークショップという形で、この地域が自分たちのまちであるという意識をもって、「**将来どんなまちにしていきたいか**」についてみんなで色々な意見を出し合う機会にしましょう！



2025
2.18